

豊岡中学校区小中一貫教育グランドデザイン

豊岡中学校・大桑小学校・轟小学校

1 研究主題

よりよい人間関係の構築から学力の向上を目指して
～9年間の見通しをもった小・小連携と小・中連携の推進～

2 めざす児童・生徒像

研究主題にせまる手立てとして、下記の『めざす児童・生徒像』を設定した。

自分の思いを話し、他の思いを聞くことのできる児童・生徒
他の考えを取り入れ、自分を高めていこうとする児童・生徒
教え合い、学び合いながら、学力の向上に取り組む児童・生徒

3 研究の基本方針

- (1) 研究主題は豊岡中学校の学校課題と同じとするが、各校の学校課題とも大きく関連しており、各校が学校課題を推進しながら研究主題を達成していくことを目指す。(下段参照)
- (2) 3校が、学習指導や児童・生徒指導等において、学校の抱えている課題や児童・生徒の実態等を共有することにより、研究をより具体的に進めていく。
- (3) 将来の豊岡地区小学校統合や小中併設、小中一貫校等の可能性を見据え、豊岡地区全体の児童生徒を9年間を通して育成していくための諸整備を行う。
- (4) 研究組織を「学習指導部」「児童・生徒指導部」「保健安全部」「小・中連携部（小・小連携部も含む）」とし、それぞれの部に各学校教職員が所属し、研究を進めていく。
- (5) 研究授業や授業研究等をできるだけ多く合同で実施し、各校の研究成果や課題は定期的に持ち寄り、共通理解を深めながら進める。

各校の学校課題

大桑小学校

轟小学校

豊岡中学校

4 研究推進の組織

研究推進委員会

各校の校長，教頭，教務主任 等

全体会				
	学習指導部	児童・生徒指導部	保健安全部	小・中連携部
大桑小	○	○	○	○
轟小	○	○	○	○
豊岡中	◎	◎	◎	◎
人数	名	名	名	名
相談役	各学校教頭			

○印は各校のリーダー ◎は部会のリーダー ★は特別支援部も兼ねる

5 研究の内容と成果指標・行動指標

(1) 学習指導部会

【研究の内容】

①小中相互の授業参観

- ・各校の研究授業の予定を共有し、積極的に参観する。
- ・各校の（保護者対象の）授業参観を活用し、相互参観する。

②授業とリンクした家庭学習の定着と充実

- ・各種テストの結果から、各教科における弱点を洗い出す。小中共通して指導の重点をおく単元、領域を設定し、9年間を見通した弱点克服を行う。
- ・9年間を見通した家庭学習の取り組み方（目指す児童・生徒像）の共通理解と充実を図る。

	目指す児童・生徒像	
第Ⅲ期（中2、3）	テストの結果を見て、自らの課題を設定し、学習する内容を決定	
第Ⅱ期 （中1、小5、小6）	（授業中の振り返りまたは授業で学習したことから）学習内容を自分で決めて実行する。	
第Ⅰ期 （小1～4）	決められたこと（宿題など）を必ず実行する。	（3、4年）学びたいことを自分で決めて実行する。 ----- （1、2年）間違えた問題にもう一度取り組む。

③タブレットの効果的な使い方の情報交換・共有

・各学校で、行った内容を随時まとめていき、共有フォルダに蓄積する。

④学び合いとなる話し合い活動の充実

【「成果指標」と「行動指標」】

☆成果指標

- ・家庭学習に対する取組が昨年より良くなった。(アンケートや保護者のコメントなどから)
- ・児童・生徒の話し合い活動の充実が図れたか。(授業参観や研修会、共有フォルダに集まった情報の活用等を通して、指導力向上が図れたか)
- ・タブレット活用のアイデアが共有できたか。(生活や授業でどう効果的に使用するか試せたか)

☆行動指標

- ・小中合同研究授業が実施できたか。
- ・共有フォルダに家庭学習、研究主題にせまる取組に対する情報を集められたか。

(2) 児童・生徒指導部会

【研究の内容】

・豊岡スタンダード、情報共有の継続

【豊岡スタンダード】

「あいさつ・返事」 気持ちのよいあいさつや返事ができる

「整理整頓」 身のまわりの物をきちんと整えることができる

「言葉遣い」 相手のことを考えた言葉遣いができる

基本方針	あいさつ・返事		整理整頓		言葉遣い	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
めざす児童・生徒像	①いつでも ②どこでも ③だれにでも ④自分から ⑤相手に届く 声で	①いつでも ②どこでも ③だれにでも ④自分から ⑤相手に届く 声で	①教室環境 ②ロッカー ③机の上・中 ④後片づけ ⑤はきもの	①教室環境 ②ロッカー ③机の上・中 ④後片づけ ⑤はきもの	①敬語を使う ②場に合わせる ③相手に合わせる ④語尾に注意する ⑤敬称をつける	①敬語を使う ②場に合わせる ③相手に合わせる ④語尾に注意する ⑤敬称をつける
指導場	①登下校 ②授業 ③休み時間	①登下校 ②授業 ③休み時間	①家庭・地域 ②授業 ③休み時間	①家庭・地域 ②授業 ③休み時間	①家庭・地域 ②授業 ③休み時間	①家庭・地域 ②授業 ③休み時間

面	④校外学習	④校外学習 ⑤部活動	④清掃	④清掃 ⑤部活動	④部活動
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期はあいさつについて重点的に指導する。 ・ 学校生活の基本的なルールやマナーについて確認する。 ・ 学級活動や朝の会・帰りの会などで、場面をとらえて話題にすることによって、豊岡スタンダードの意識の定着を図る。 				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月と1月に、児童・生徒によるアンケートを実施する。 ・ アンケートは、各項目ごとに集計し、達成感などを数値化する。 ・ 必要に応じて、学校だよりやホームページなどを通して、地域・保護者に実態を示す。 ・ 小中連携生徒指導部で情報を共有し、その後の改善に生かす。 				

(3) 保健安全部会

【研究の内容】

- ①生活習慣に関するアンケートの実施、アンケート結果の分析
- ②小中学校同時期による生活習慣改善週間(元気アップ週間)の実施
- ③メディアコントロール(ノーメディアデー)の実施
- ④望ましい生活習慣啓発資料の作成、配布
- ⑤生活習慣保健指導の実施
- ⑥地域学校保健委員会の開催

【「成果指標」と「行動指標」】

☆成果指標

- ・ 生活習慣の改善がみられたか(アンケート、児童生徒及び保護者のコメント等から)

☆行動指標

- ・ 予定された行事を実施することができたか

(4) 小・中連携部会

【研究の内容】

- ・ 合同で活動を行っていくことにより、9年間を見据えたよりよい人間関係づくりに取り組んでいく。

①小・小連携

- ・ 合同での宿泊学習の実施
- ・ 中学校説明会時にドッジボール大会を実施

②豊中祭での交流

- ・ 豊中祭の見学(6年生)

③中学校説明会での交流

- ・ 11月 各小学校で中学校に対するアンケートの実施
→アンケート結果を受けて、中学校説明会で回答
*6年生 → 生徒会役員
保護者 → 中学校教員 がそれぞれ回答

④中学校教員による、小学校6年生への乗り入れ授業
【「成果指標」と「行動指標」】

☆成果指標

- ・アンケートを実施し、小・小連携や小・中連携での教育的効果を確認する。

☆行動指標

- ・小・小連携（ドッジボール大会）を行い、小学生同士の交流を図ることができたか。
- ・豊岡中学校の行事を通して、小中学生の交流を図ることができたか。
- ・中学校から小学校への出前授業が実施できたか。